

## あけましておめでとうございます

平成26年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申しあげます。

さて、昨年を顧みますと、3月には、支笏湖温泉地区におきまして、新たな泉源から温泉の湧出を確認し、現在、温泉の供給に向けて、揚湯設備の整備を進めているところであります。

4月には、市内3か所目の地域包括支援センターとなる北区地域包括支援センター「きずな」を市立千歳市民病院内に開設いたしました。

5月には、中心市街地にあるグリーンベルト親水公園がオープンし、市民の皆さまには清流千歳川を身近に感じることのできる憩いの場・ふれあいの場として利用されております。

このように、本市の地域資

源を生かした観光振興の推進や市民生活の安定と向上に努めたところであります。

また、北海道千歳高等支援学校が開校を迎えるとともに、新千歳空港インターチェンジが供用開始となるなど、これまで長年にわたり取り組んでまいりました誘致・要望活動が実を結んだ一年でもありました。

新千歳空港につきましては、国内格安航空会社（LCC）の利用が好調を維持し、さらに円安を背景として台湾などからの北海道観光の客足が伸びるなど国内線・国際線ともに例年に比べ利用者の増加がみられ、本市はもとより、北海道経済の活性化につながるものと期待しているところであります。

一方、国の情勢に目を転じますと、安倍政権が進める日

本経済再生に向けた経済政策の効果が景気回復の兆しとしてみられるなか、国民の現政権に対する期待が7月に行われた参議院議員選挙の結果に表れ、衆参ねじれ国会の解消に至りました。

また、9月に決定した2020年夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催は、我が国にとりまして、将来に希望の持てる大変明るい話題となりました。

さらに、昨年末には、新たな「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」が閣議決定されました。私たちは、北海道に所在する自衛隊が大幅に削減されるとの情報に大きな危機感を抱き、これまで自衛隊の体制維持・強化を目指して、要望活動や中央大会等の運動を進めてまいりました。

この結果、15万4千人まで削減するとしていた陸上自衛隊の定員が、新しい「防衛計画の大綱」では現在の定員である15万9千人程度とされ、現体制が維持されたところであります。このことは、北海道の自治体が一丸となって進めてまいりましたこれまでの活動の成果が表れたものと考えております。今後は、具体的な配置や年度ごとの予算編成が行われることとなりますので、引き続き、要望活動等を通じてまいります。

本年は、新富地区に市内3か所目の子育て支援センター

「げんきっこセンター」を開設し、さらに、スポーツセンターをリニューアルオープンするなど、第6期総合計画の着実な推進を図るとともに、「活力」と「安心」を施策の柱として「市民協働により、住み良い、発展がつづく都市づくり」に向け、9万5千市民の幸せのため先頭に立ち、まい進する所存であります。

新しい一年が、活力にあふれ、市民の皆さまが健康で笑顔が輝く、希望に満ちた年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。



千歳市長 山口 幸太郎

まちの勢いや発展が続くよう、「躍動感」に満ち、さらに「飛躍」する年となるよう、今年の「一年一字」は「躍」としました。